

貸借対照表

2016年3月31日 現在

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
I. 流動資産	1,154,696	I. 流動負債	812,282
現金及び預金	581,092	買掛金	79,577
売掛金	296,243	未払金	255,712
たな卸資産	245,496	未払費用	4,104
前払費用	5,670	未払法人税等	156,352
未収入金	1,181	未払消費税等	73,507
繰延税金資産	24,680	預り金	18,714
その他	332	親子間未払金	206,520
		賞与引当金	17,791
II. 固定資産	941,722	II. 固定負債	632,499
1. 有形固定資産	812,553	長期借入金	632,499
建物	703,906	負債合計	1,444,782
工具、器具及び備品	104,514	純 資 産 の 部	
建設仮勘定	4,132	I. 株主資本	651,637
2. 無形固定資産	2,168	1. 資本金	45,000
ソフトウェア	2,168	2. 資本剰余金	35,000
3. 投資その他の資産	127,001	3. 利益剰余金	571,637
敷金保証金	127,001	1) その他利益剰余金	571,637
		繰越利益剰余金	571,637
		純資産合計	651,637
資産合計	2,096,419	負債及び純資産合計	2,096,419

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産

原材料

最終仕入原価法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)を採用しておりますが、一部の原材料につきましては、個別原価法による原価法を採用しております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下の通りであります。

建物及び構築物……………3～20年

工具、器具及び備品……………3～15年

無形固定資産

自社利用のソフトウェアは社内における見込利用可能期間に基づく定額法を採用しております。

(3) 重要な引当金の計上基準

賞与引当金

従業員の賞与に備えるため、賞与支給見込額のうち当事業年度負担分を計上しております。

(4) 外貨建資産負債の換算基準

外貨建金銭債権債務は、決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

(5) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

税抜方式を採用しております。

(6) 重要な会計方針の変更

該当事項はありません。